

Sonus faber®

OLYMPICA

a new classic emotion



テアトロ・オリンピコ (ヴィチエンツァ)

ヴィチェンツァの歴史、
ソナス・ファベールの伝統をふまえた
スピーカー・デザインの革新。



OLYMPICA III

Sonus faber

OLYMPICA

a new classic emotion

“...un teatro sul modello antico, ma in piccole proporzioni e indicibilmente...”
1786 - Viaggio in Italia - Goethe

“...古代の典型とも言うべき劇場。決して大きくはないが、筆舌に尽くし難いほど美しい...”。

文豪ゲーテが「イタリア紀行」の中でこう讃えた劇場、それは“テアトロ・オリンピコ”。ソナス・ファベールの本拠地、北イタリア・ヴィチエンツァに遺るこの劇場は、稀代の建築家アンドレア・パラディオが死を前にしてヴィチエンツァへ贈った傑作です。古代ギリシャの劇場を範としたその美と調和は、町の美しさをさらに引き立てただけでなく、芸術の精髓を伝えきるべく考え抜かれた殿堂であり、音響が均質に拡散していくその構造は建築における音響設計の優れた模範とも考えられています。

過去に学び、現代に活かす—。それはソナス・ファベールがスピーカーづくりにおいて貫いてきた姿勢でもあります。ソナス・ファベールのスピーカー—つひとつの血脈とも言うべきヴィチエンツァの豊穡な文化的遺産とパラディオの偉業の数々。

ソナス・ファベールはその歴史への敬意を「オリンピカ」という新たなスピーカー・システムに込めました。偉大な楽器職人たちとその才能を育んだクレモナの町へ捧げてきた敬意同様、それは単なるオマージュにとどまらず、絶えず原点に立ち返って未来を志向するソナス・ファベールならではの創造のあり方に他なりません。



OLYMPICA II

ヴィチェンツァの宝石へ捧ぐ 新たなプロジェクト

楽器づくりの名だたるマエストロたちを輩出した町、クレモナに捧げた「クレモナ」シリーズ。そのマエストロたちに捧げた「オマー・ジュ」シリーズ…。ソナス・ファベールは、過去を訪ねいにしへの知恵を現代のテクノロジーによって活かすスピーカー設計デザインに、その存在意義を見いだしてきました。ソナス・ファベールが生まれた町、ヴィチェンツァの歴史的遺産「テアトロ・オリンピコ」に捧げる「オリンピカ」シリーズでは、伝統と革新の創造的な融合というそのソナス・ファベールならではのアプローチと情熱を、佇まいからも触感からも感じられるスピーカー・システムの実現を目指しました。オリンピカは工房で開発した最新のドライバー・ユニット群をもとに、ソナス・ファベールの象徴と言えるウォルナットとレザーという素材の力を最大限に引き出した、まったく新しいプロジェクト。2ウェイ・ブックシェルフ型の「オリンピカⅠ」、3ウェイ・フロアスタンディング型の「オリンピカⅡ」、3ウェイ4スピーカーのフロアスタンディング型「オリンピカⅢ」から構成されています。

ドライバー・ユニット新規設計に 込められた音への情熱

オリンピカのドライバー・ユニットは、ダイキャスト・バスケットも含めてすべてソナス・ファベールがエンジニアリングを手がけた新規設計モデル。この事実、バオロ・テツオンとリヴィオ・ククツァを中心とする新世代の研究開発部門がこのプロジェクトに込めた情熱の強さを物語るものと言えるでしょう。

高域には、いずれも29mm口径ネオジウム磁気回路をそなえ、クラシックなドームとリング・ラジエーターの特性を融合したソナス・ファベール独自の「アロー・ポイントDAD」を採用。伸びやかで澄み切った高域再生を実現しています。オリンピカⅡ、オリンピカⅢの中域は150mm口径で、自然乾燥させた異種繊維のブレンドによる軽量・高剛性のダイアフラムを渦電流フリーのボイスコイルをそなえた強力磁気回路によって駆動。ケナフやカボック、セルロースなどの天然素材を活かしたダイアフラムの表面は高粘度ダンピング剤にて処理され、残留するコーンの色づけ要因を一掃しています。オリンピカⅡでは、このドライバー・ユニットが中・低域再生を担っており、オリンピカⅢ、オリンピカⅣでは同軸アンチ・コンプレッサーを採用してキャビティー共振と歪みを低減しています。

オリンピカⅡ、オリンピカⅢの低域は、「アイダ」で採用した230mm口径ドライバー・ユニットをダウンサイズしたモデル。シンタ



（左）中央にアンチ・レゾネーターを弓状ワイヤーで固定、振動を最適に制御してドーム型の繊細さとリング・ラジエーターの指向特性を両立させるDAD(Damped Apex Dome)。（右）オリンピカⅡ、Ⅲの中域ダイアフラム中央にはアンチ・コンプレッサーを搭載。

クティック・フォームをセルロース・パルプ材で挟み込んだサンドウィッチ構造のダイアフラム、30mm口径のボイスコイルと強力なロング・ストローク磁気回路のコンビネーションにより、弾力性に富んだ強靱な低域再生を可能にしています。

各ドライバー・ユニットを結ぶクロスオーバー・ネットワークは、パーツの厳選を重ねたことはもちろん、入念に共振を抑えこみ度重なる試聴を経て磨き上げた独自のプログレッシブ・スロープ設計によって時間・空間双方の振幅・位相特性を最適化。新規設計ドライバー・ユニットの真価を最大限に引き出しています。

新たな挑戦となる かつてないキャビネット造形

これまでのソナス・ファベールのモデルと大きく異なる設計上のポイントは、そのキャビネット形状。ソナス・ファベールはかつて断面がリュートの形に似た「リュート・シェイプ」を確立、近年はフラッグシップ・モデルの「アイダ」のために、その発展形である「ライラ（竖琴）シェイプ」を開発しましたが、オリンピカではこれをさらに進化させた「エンハンスド・ライラ・シェイプ」を採用しています。それは、ソナス・ファベールとしては初めての試みとなる左右非対称デザイン。内部平行面をなくすことにより、定在波を排除し内部共振の大幅な低減に寄与しています。

もちろん、木と革の特性を引き出し、美しい意匠のみならず音響性能にもその特性を活かすソナス・ファベール伝統の手法は「オリンピカ」でもますます冴えわたっています。キャビネット側板は美しいウォルナット突板仕上げとし、そのウォルナット材同士の接合部にはクリア・メイプルをダンピング素材として使用するなど、異種木材の組み合わせによって木の響きを活かしつつ不要な振動要素を排除するソナス・ファベールならではの技法を採用。壁面の厚みを部分的に変えることによる共振のダンピングや、天板と底板をウォルナット無垢材としてキャビネット全体を強固に挟み込む手法など、細心の設計を徹底しています。一方、天板からフロント・バッフル、リア・バッフルに至るまで入念なレザー張りとする手法も、意匠上の美的配慮だけでなく音波を不規則に反射させバッフルの共振を的確に制御する音響上必要不可欠な技術です。



革新的設計のハイライト、 新発想のバスレフ・システム

もう一つ、これまでのソナス・ファベールから一歩進んだオリンピカにおける最大のイノベーションとも言えるのが、まったく新しい考え方に基づくバスレフ・システム。ソナス・ファベールでは近年、伝統的な「ラミナー・フロー（層流型気体）」の空気力学管理の考え方を基に、特殊なダンピング材と独自のポート・チューニングを導入した「ステルス・リフレックス」を開発、金字塔のモデル「ザ・ソナス・ファベール」や「アマティ・フトゥーラ」、「ガルネリ・エヴォリューション」に採用してきましたが、オリンピカの新たなバスレフ・システムはその発展形であり革新的新技術です。

このシステムは、キャビネット後方に垂直方向の直線的なポートを配し、ポート内部の形状と的確な吸音材配置によりポート・ノイズを抑えながらチャンバーからの気流の流れを精密にコントロール。そして、その出口に多孔ステンレス・スチール・プレートのリフレクター板を設けることによって気流の反射・拡散を制御します。そのため、左右スピーカーの位置を入れ替えてポート出口を外側か内側へ向けることにより、リスニングルームの音響条件に応じて低域のレスポンスを調整できるのが大きなメリットです。



ソナス・ファベール独自のパラミナー・ステルスフロー・ベンテッド方式バスレフ。各チャンバーのエネルギーを効率的に誘導、高速で分解能に優れた、伸びのある低域再生を実現します。

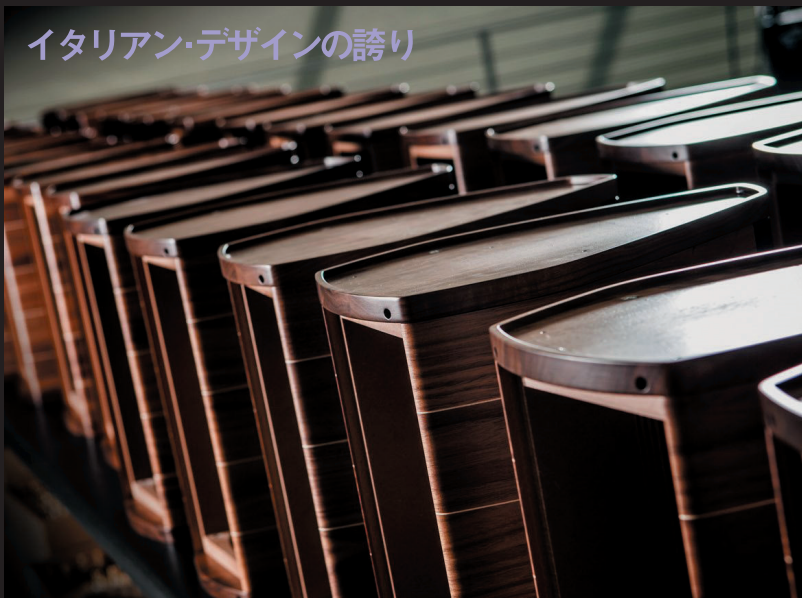
OLYMPICA I



OLYMPICA II



イタリアン・デザインの誇り



手づくりに徹するクラフトマンシップ、最新のテクノロジー、そして音楽的感性……。ソナス・ファベールがずっと大切にしてきた三つの価値です。弦楽器づくりをはじめとする木工技術や、馬具などをはじめとする皮革製品づくりの技。そうしたイタリア伝統のものづくりをふまえながら、素材や音響に関する最新の知見を積極的に活用し、音の理想を求めていくのがソナス・ファベールの一貫した姿勢です。したがって、ソナス・ファベールのスピーカーは昔も今も原則として北イタリア・ヴェネト州のヴィチェンツァに位置する工房にて開発・設計され、熟練職人による手づくり体制のもと一本一丁寧に組み上げられています。

もちろんオリンピカ・シリーズでも、ウォルナット材のカッティングや加工・研磨、ニス掛け、あるいは革のなめしや裁断・縫製など、キャビネット製造工程のほとんどの工程が職人の手作業で行なわれています。一方、新しいドライバー・ユニットの設計・開発やクロスオーバー・ネットワークの調整といったエレクトロニクス関連、バスレフ・ポートのチューニングなどの工程はコンピューターにて綿密に進められますが、最終的な音のクオリティとバランス決めるのはあくまで人間の聴覚。ソナス・ファベールが磨き上げてきた音楽的感性です。イタリアン・デザインの誇りこそがオリンピカ・シリーズを支えています。



Specifications

OLYMPICA I

- 形式 2ウェイ・スタンドマウント型バスレフ方式
- 使用ユニット＜高域＞ 29mm口径アロー・ポイントDAD付
ソフトドーム型
- ＜中域＞ (中／低域) 150mm口径ファイバー・コーン型
- ＜低域＞ —
- クロスオーバー周波数 2,500Hz
- 周波数特性 50～30,000Hz
- 出力音圧レベル 87dB SPL (2.83 V/1m)
- インピーダンス 4Ω
- 耐入力 40～150W (クリッピングなし)
- 寸法、重量 本体 幅222×高さ354×奥行き368 mm、8.7kg
スタンド 幅287×高さ708×奥行き376 mm、7kg
総合 幅287×高さ1068×奥行き435 mm、15.7kg
- キャビネット仕上げ ウォルナット中光沢ラッカー仕上げ
- 希望小売価格 本体 ￥840,000 (ペア・税抜)
STAND OLYMPICA ￥160,000 (ペア・税抜)

OLYMPICA II

- 3ウェイ・フロアスタンディング型バスレフ方式
- 29mm口径アロー・ポイントDAD付
- ソフトドーム型
- 150mm口径ファイバー・コーン型
- 180mm口径発泡材／セルロース材
- サンドウィッチ構造コーン型
- 250Hz、2,500Hz
- 40～30,000Hz
- 88dB SPL (2.83 V/1m)
- 4Ω
- 50～250W (クリッピングなし)
- 幅370×高さ1055×奥行き472 mm、30kg
- ウォルナット中光沢ラッカー仕上げ
- ￥1,340,000 (ペア・税抜)

OLYMPICA III

- 3ウェイ・フロアスタンディング型バスレフ方式
- 29mm口径アロー・ポイントDAD付
- ソフトドーム型
- 150mm口径ファイバー・コーン型
- 180mm口径発泡材／セルロース材
- サンドウィッチ構造コーン型 ×2
- 250Hz、2,500Hz
- 35～30,000Hz
- 90dB SPL (2.83 V/1m)
- 4Ω
- 50～300W (クリッピングなし)
- 幅403×高さ1114×奥行き508 mm、36kg
- ウォルナット中光沢ラッカー仕上げ
- ￥1,760,000 (ペア・税抜)

Sonus faber

OLYMPICA

a new classic emotion



OLYMPICA CENTER の特長

“OLYMPICA”シリーズで採用された最新テクノロジーを踏襲

- エンハンスド・ライラシェイプデザインキャビネット
- パラミナー・ステルスフロー・ベンテッド方式パスレフシステム
- 新設計ドライバーユニット

Specifications

- 形式
- 使用ユニット <高域>
<中域>
<低域>
- クロスオーバー周波数
- 周波数特性
- 出力音圧レベル
- インピーダンス
- 耐入力
- 寸法、重量
- キャビネット仕上げ

OLYMPICA CENTER

3 ウェイ・スタンドマウント型パスレフ方式
29mm 口径アロー・ポイント DAD 付
80mm 口径ファイバー・コーン型
150mm 口径ファイバー・コーン型
250Hz、2,500Hz
50～30,000Hz
88dB SPL(2.83V/1m)
4Ω
50～300W(クリッピング無し)
本体 幅 649mm × 高さ 230mm × 奥行 353mm、18kg
スタンド 幅 438mm × 高さ 443mm × 奥行 310mm、5kg
ウォルナット中光沢ラッカー仕上げ

※専用スタンド STAND OLYMPICA CENTER (別売)



記載内容は 2016 年 3 月現在のものです。仕様及び外観は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

NOAH 株式会社 **AP**

112-0013 東京都文京区音羽1-1-7 正進社ホールディングスビル4階
TEL 03-6902-0941 FAX 03-6902-0944 <http://www.noahcorporation.com>

Sonus faber

OLYMPICA

a new **classic** emotion



OLYMPICA III Wengè



OLYMPICA II Wengè



OLYMPICA I Wengè



Center Wengè

仕様・価格等は既発売の OLYMPICA Walnut（ウォルナット中光沢ラッカー仕上げ）モデルと同様です。仕様及び外観は予告なく変更されることがあります。ご了承ください。